



すくすく通信

2022年 2月号
子育て世代包括支援センター
子育て支援室



一段と寒さが厳しくなってきました。外遊びよりも、家で過ごす時間が増えて、気を付けなくてはいけないのが、室内での事故です。日頃から危険な場所がないか、チェックして、予防しましょう！



家電の蒸気 やけどに注意

冬に起こりやすい事故に、やけどがあります。

電気ポット、スチーム式の加湿器、炊飯器の蒸気を出す家電は、事故が多いです。乳幼児は、高温の蒸気に触れた際の反射動作が大人に比べて遅いため、やけどが深くなりがちです。

事故を防ぐためには、家電を高い位置に置いたり、近づかないように、柵を設置したりする事が大切です。これから、購入予定の方は、蒸気レスや蒸気カットなどの商品も検討してはいかがでしょうか。

予防&対策チェック



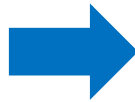
- ・最近ヘアアイロンによるやけどが増えています。使用後、手の届かない所に、置いてありますか？
- ・おばあちゃんの家など、自宅以外でのストーブ、ポットなどの位置、チャイルドロック、ストーブの柵の有無など事前に確認していますか？
- ・テーブルクロス、ランチョンマットなどは、引っ張られないようにしましょう。

もし、やけどをしてしまったら・・・

流水で冷やす！

水道を流しっぱなしにして、15～30分とにかく冷やします。

衣服を着ている場合には、無理に脱がさず衣服の上から冷やします。



やけどの範囲が広い時や、赤く腫れて水ぶくれがある時、強い痛みが治まらない時は、病院へ行きましょう。

